

# 門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の治療効果に関する後向き検討

2006年4月から2015年6月までに肝細胞癌のために肝動脈化学塞栓術を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の治療効果に関する後向き検討」という研究を行います。この研究は、2006年4月1日より2015年6月30日までに日本医科大学付属病院放射線科にて、肝細胞癌のために肝動脈化学塞栓術を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の治療効果に関する後向き検討  
研究期間：2016年9月16日（倫理委員会承認日）～2018年7月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 安井 大祐

### (2) 研究の意義、目的について

門脈への浸潤を有する肝細胞癌に対する標準治療は、ソラフェニブ(商品名：ネクサバル、バイエル薬品)とされていますが、近年ではカテーテルを用いた肝動脈化学塞栓術がより有効ではないかと考えられています。本研究は門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の有用性を明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について

2006年4月1日より2015年6月30日までに日本医科大学付属病院放射線科にて、肝動脈化学塞栓術を受けられた患者さんのカルテ情報、画像データ、採血データ等を解析し、治療の有効性及び安全性を検証します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 放射線科 助教 安井 大祐  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4275  
メールアドレス：ledhotcp@nms.ac.jp